

～ 知識の向こう側へ ～

SSH通信

No.6 発行 2015.9.5

夏の研修・実習・実験教室・学会

●SSHつくば研修

[概要] 希望者40名を対象として、8月3～5日につくば市にあるJAXA筑波宇宙センター、KEK高エネルギー加速器研究機構、物質・材料研究機構NIMSに行きました。

つくば研修の三日間は、驚きと発見に満ちた濃厚な三日間であった。特に、三日目に行われた班別体験学習の材料の不思議という講座では、身近な金属製品と金属の性質との関連について学習し、用途に合わせて金属の材質や合成比を変えて使われていることが興味深かった。今回の研修は三日間の短い期間であったが、科学の面白さについて再認識できた有意義な研修であった。

(2年 普通科 氷室友佳乃)



今後の予定

9/6 精密工学会 2題 発表予定

9/5, 9/12 わくわくサイエンス 担当生徒

9/27 利根川進講演会 希望者

10/10 やさしい科学技術セミナー 希望者

10/13 科学の甲子園 みやぎチャレンジ 希望者

10/26 理数科講演会 理数科

Information

SSH課外活動は、理数科・普通科の別や学年を問わず、本校生徒なら誰でも参加できるものがほとんどです。ぜひ、積極的に参加してください。

●SSH白神フィールドワーク

[概要] 希望者28名を対象として、8月9～11日に青森県にある白神十二湖地域で調査・実習を行いました。

ブナ林の毎木調査や発光生物の観察、地滑りと追良瀬川の土石流、礫の生物観察、十二湖地域の地形についてフィールドワークを行いました。自然の大きさやそこに生息する生き物、植物を知ることができました。ウミホタルやゲンジボタルなどの発光生物を見るのは初めてだったので、とても印象に残った。普段の生活では見られないものばかりで良い経験になりました。

(1年 理数科 安齋音哉)





●物理教育学会

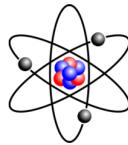
私が自然科学部物理班に入部して研究発表したのは、この学会が初めての機会でした。三ヶ月という短い研究期間でしたが、先生や先輩にご指導を頂きながら何とか研究を進めることができました。当日は緊張しましたが、発表は落ち着いてできたと思います。しかし、研究内容の基礎的な知識が不十分で、質疑応答で戸惑ってしまいました。この学会では表彰等はないので、明確な評価はありませんでしたが、自分自身の力不足を実感しました。今回の成果と課題や大学の先生からのご指導を元に、これから研究をより発展させていきたいと思ひます。

(1年 理数科 佐藤航輝)



発表はうまく行えたが、質疑応答での対応は不十分であった。その点、先輩は質問にも的確な対応をしており、その結果仙台三高初の最優秀賞を受賞できた。そのことから、今度は研究での考察をより深く行い、話し手と聞き手が一体となって議論できるような発表を目指していきたい。

(1年 理数科 萩田泰晴)



●わくわくサイエンス

～サイエンス・ディ～

私たちは東北大学で開かれたサイエンス・ディで小中学生向けに液体窒素、空気砲の実験を行いました。-196度の液体窒素の特性を生かした実験や空気砲から出る空気の輪に子ども達は大喜び上がりでした。今回私たちは、より理解を深めてもらえるように、分かりやすく、視覚的な説明を心掛けました。液体窒素を扱うこと自体、貴重な経験ですが、それ以上に教える側になるという貴重な経験を通じて伝えることの難しさと喜びを感じることができました。

(2年 普通科 阿部稜平)



●日本動物学会

東北支部大会

私は今回の日本動物学会に「ヨモギ虫えいを形成するタマバエの分子系統解析」という題で参加した。ヨモギにできた虫こぶに興味を持ち、そこに寄生するタマバエという虫についての観察やDNAを用いた実験を行った。実験はまだ終わっていないので現状報告というかたちの発表になったが、他の班や他校の生徒の研究内容を聞いた事は良い刺激になった。この先もこのような機会を逃さずに研究をより良いものにしていきたい。

(2年 理数科 深掘宗一郎)



●プラズマ・核融合学会



私にとっては今回が2度目の学会発表であった。物理教育学会でいただいたご指摘をもとに、より高度な発表にするため修正を加えて学会に臨んだ。学会では、



●SSH生徒研究発表会

8月5、6日に大阪で開催されたSSH生徒研究発表会で、本校からは「松島湾のアマモの遺伝的解析 ～アマモ場回復に向けた移植の検討のために～」の発表を行いました。

また、2年生の門口君からインテル国際学生科学技術フェアの体験報告が行われました。

